

第41回高知糖尿病チーム医療研修会のご案内

謹啓、時下、皆様方におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

第41回高知糖尿病チーム医療研修会をご案内致します。

今回の教育講演は、医療法人 鳴子会 理事 北村 ゆり 先生から「糖尿病と認知症」、また、町田病院 副院長 橋田 正継 先生から「糖尿病に伴う視覚障害への取り組み」と題してご講演いただきます。

シンポジウムでは、県内各施設で糖尿病療養指導にご活躍の先生方の口述発表と総合討論を予定しております。糖尿病治療、指導に興味をお持ちの医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士等多数のご参加をお待ちしております。

尚、本研修会は、日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会として<第2群>(糖尿病療養指導研修単位)1単位を申請中です。

謹 白

第41回高知糖尿病チーム医療研修会
幹事 高知高須病院 吉本 幸生

記

日 時：2019年6月2日（日） 13:00～17:00

場 所：高知市文化プラザ かるぽーと 大ホール

対 象：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、
栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士、その他医療スタッフ

【講師プロフィール及び講演要旨】



「糖尿病と認知症」

北村 ゆり 先生(医療法人 鳴子会 理事)

糖尿病は血管性認知症の発症を2から3.5倍上昇させるということは以前から知られていたことであるが、近年、久山町などで行われている大規模な疫学調査から、アルツハイマー病発症の発症も1.3から2.3倍上昇させるということが明らかとなり、認知症予防の大きな要素に、糖尿病の予防と適切なコントロールがあげられるようになっている。

そして、認知症を合併しない糖尿病でも、2型糖尿病では処理スピードの低下や言語性記憶の低下が、1型糖尿病では精神運動機能の低下、注意機能の低下、思考の柔軟性の低下などの認知機能の低下が認められ、糖尿病のコントロール状態によりこの認知機能は変動し、正確な認知機能の把握や診断を困難にする。また糖尿病に認知症が合併すると、その服薬回数の多さ、食事管理の必要性のため介護必要量が大きく、地域での生活を続けるうえで大きな問題になるのである。

このように糖尿病と認知症は密接な関係を持っているので、糖尿病医療、看護の現場で知っておくべき糖尿病と認知症の関係と、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症の基礎的な知識について話したいと思う。



「糖尿病に伴う視覚障害への取り組み」

橋田 正継 先生(町田病院 副院長)

糖尿病合併症の一つである視覚障害は生活の質を著しく低下させてしまう。角膜、前房、水晶体、外眼筋、網膜、神経などほとんど眼球の全部位に合併症を起こし、その多くは不可逆性障害となる。一旦、視力が低下すると衣食住にはじまり、運動療法や服薬およびインスリン投与にまで支障をきたし、血糖コントロールにも悪影響が発生する。問題はこの視覚障害が顕性化するまで、当事者は自覚症状が乏しいということで、これらの合併症が発症する前に啓発することが肝要である。今回の講演では、多岐にわたる糖尿病眼合併症の中でも網膜症を主におさらいし、眼底出血以外にも発生頻度が高い黄斑症や急激な不可逆性視力障害を来す血管新生緑内障についても述べる。再生医療がこれらの合併症を克服できる将来はまだしばらく到来しないと思われるが、ロービジョンに陥った場合のレスキューは日々進歩していて福祉までも巻き込んだトータルケアを可及的に模索する。

【プログラム】

12:00～ 受付

13:00～ 13:05 開会挨拶

第41回研修会幹事 吉本 幸生 先生(高知高須病院 医師)

13:05～ 14:00

教育講演1 司 会 吉本 幸生 先生(高知高須病院 医師)

「糖尿病と認知症」

演 者 北村 ゆり 先生(医療法人 鳴子会 理事)

14:00～ 15:00

シンポジウム「糖尿病療養指導の現状と実際」

司 会 船越 生吾 先生(高知大学医学部附属病院 医師)

西川 薫 先生(高知赤十字病院 管理栄養士)

① 濱田 一豊 先生(高知赤十字病院 看護師)

「当院2泊3日糖尿病教育入院の現状と課題 人材育成の視点」

② 片岡 友和 先生(高知高須病院 臨床検査技師)

「糖尿病合併血液透析患者の血糖コントロールに影響する因子」

③ 川上 聖代 先生(高知大学医学部附属病院 管理栄養士)

「当院における肥満外科治療への管理栄養士の関わり」

④ 尾原 麻子 先生(田内歯科 歯科衛生士)

「歯科衛生士からみた歯周病と糖尿病」

⑤ 横山 三都香 先生(高知高須病院 薬剤師)

「自己管理困難となった1型糖尿病の透析患者に対する、

当院の退院支援の関わりについて」

15:00～ 15:05 休憩

15:05～ 15:30

ポスターセッション(上記シンポジウムをポスターにて質疑応答)

15:30～ 16:00 総合討論

16:00～ 16:55

教育講演2 司 会 末廣 正 先生(高知高須病院 医師)

「糖尿病に伴う視覚障害への取り組み」

演 者 橋田 正継 先生(町田病院 副院長)

16:55～ 17:00 閉会挨拶

第41回研修会幹事 吉本 幸生 先生(高知高須病院 医師)

参加申込書

高知糖尿病チーム医療研修会 事務局

〒781-5103 高知市大津乙2705-1

高知高須病院 栄養部

TEL 088-878-3377

FAX 088-878-3322

Email:dm-takasu@takasuhp.or.jp

※ この用紙に同一施設・複数名で、ご記名願います。

歯科医師会会員の先生方へ

ご出席の際には、日歯生涯研修事業ICカードを必ずご持参ください。

ICカードを忘れると、研修会の研修単位登録は自己申告で行うこととなります。

ご施設名：

ご施設名住所：〒

電話番号：() -

1. 申込み代表者名	ご職種
2. ご芳名	ご職種
3. ご芳名	ご職種
4. ご芳名	ご職種
5. ご芳名	ご職種
6. ご芳名	ご職種
7. ご芳名	ご職種
8. ご芳名	ご職種
9. ご芳名	ご職種
10. ご芳名	ご職種

講師の先生にお聞きしたい点、ご質問がありましたら事前にご記入ください。

足りない場合、用紙をコピーしてご記入の上、FAX してください。

【その他の連絡事項】

1. 参加費 お一人様 1,000円を受付にて申し受けます。
2. 参加申し込み方法 住所・氏名・施設名・職種・電話番号を記入の上、FAX又はE-mailにて申し込み願います。
3. 参加申込先 〒781-5103 高知市大津乙2705-1 高知高須病院 栄養部

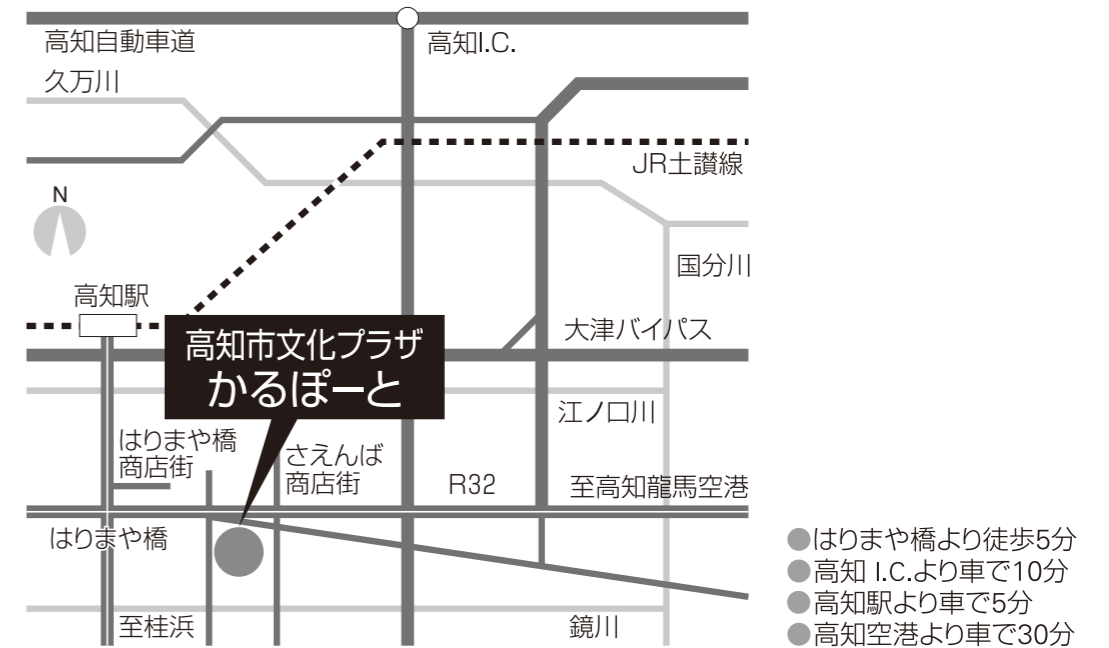
Fax 088-878-3322

TEL 088-878-3377

Email:dm-takasu@takasuhp.or.jp

4. 申込締切日 2019年5月20日(月)
5. 当セミナーは、下記の研修認定単位を取得することができます。
 - ・日本医師会生涯教育講座(2単位)
 - ・日本薬剤師研修センター 認定単位(2単位)
 - ・日本病院薬剤師会生涯研修制度(2単位)
 - ・日本臨床衛生検査技師会履修点数(基礎-20点)
 - ・日本栄養士会 生涯教育(1単位)
 - ・日本歯科医師会 生涯研修制度単位認定(8単位)
 - ・日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修<第2群> 1単位
 - ・日本糖尿病協会登録医・療養指導医制度のための講習会
 - ・日本糖尿病協会 歯科医師登録医のための講習会
 - ・高知県糖尿病療養指導士単位認定(4単位)
 - ・日病薬病院薬学認定薬剤師制度(2.5単位)

6. 会場案内図



共催：高知糖尿病チーム医療研修会
高知県糖尿病対策推進会議
高知県医師会
高知県糖尿病療養指導士会
田辺三菱製薬株式会社

第一三共株式会社
公益社団法人高知県栄養士会
公益社団法人高知県薬剤師会
高知県病院薬剤師会

後援：公益社団法人高知県看護協会
(社)高知県臨床検査技師会
公益社団法人高知県理学療法士協会
高知県歯科医師会